

年報 2024

—奈良県立民俗博物館だより—

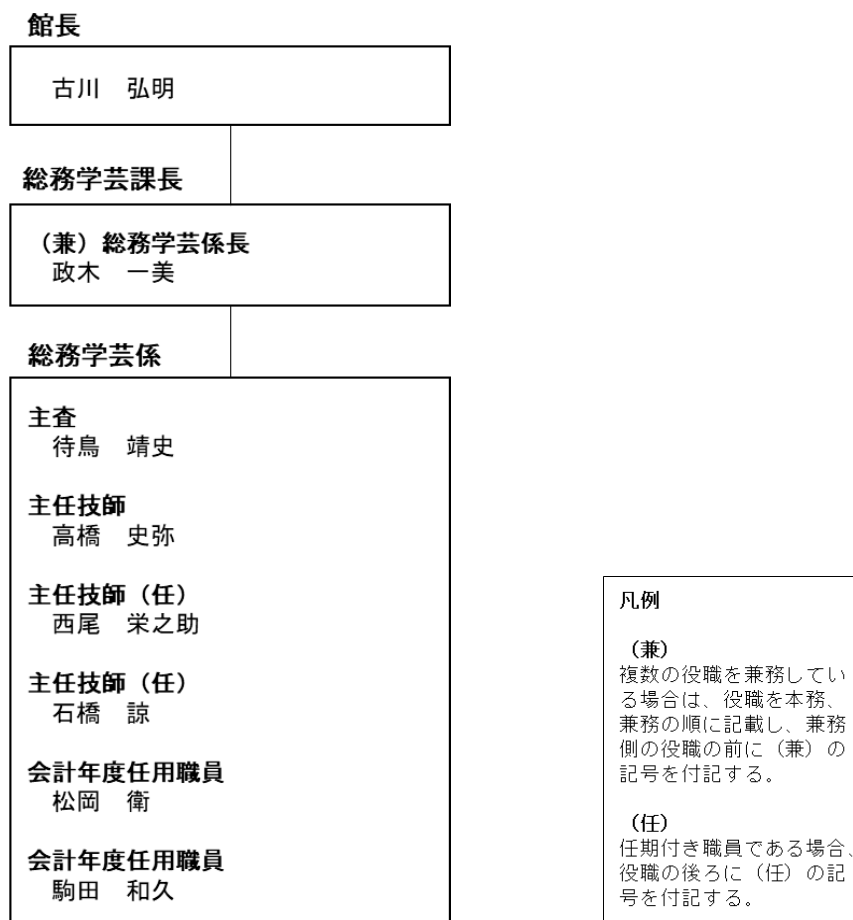


目次

(1) 博物館の組織と職員	1
組織図および職員名簿	1
過去5年間の職員数遷移	1
(2) 令和6年博物館の入館者・古民家園の入園者数	2
(3) 事業報告	
①展示事業	
企画展・特別展	4
スポット展	5
展示室の公開休止について	6
②イベント事業	
秋まつり・梅まつり	8
講演会	10
イベント・ワークショップ	12
古民家活用イベント	13
③指定文化財（民家）の保存修理事業	
古民家修理現場公開（見学会）	14
④博学連携事業	
学校団体見学利用実績	15
大学との連携協定	15
⑤資料整理事業	
博物館による資料整理	16
大学による資料整理協力	19
⑥調査研究事業	
民俗調査	23
資料調査	23
⑦その他事業	
情報発信	23

(1) 博物館の組織と職員

【組織図および職員名簿（令和 6 年 11 月 1 日現在）】



また昭和 49 年の開館当時から民俗博物館は一貫して知事部局所管課の出先機関であり、県民生活課、企画文化課、文化課、文化観光課、文化国際課、文化課、文化・教育課、文化振興課、文化資源活用課を経て、令和 7 年 3 月現在は文化財課の所管である。

【過去 5 年間の職員数遷移】

	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
管理職(事務)	2	2	2	2	2
行政職	3	2	2	2	1
学芸員(正規職)	1	1	0	1	1
学芸員(任期付)	2	2	1	2	2
会計年度任用職員	2	3	4	3	2
計	10	10	9	10	8

各年4月1日時点の実人員数

直近 5 年間における職員数の遷移は上の表のとおりである。職員における正規職と非正規職の割合は、令和 2 年度時点で正規職 60%、非正規職 40%であったが、正規職が減員を続けたことで令和 6 年度では正規職 50%、非正規職 50%となった。

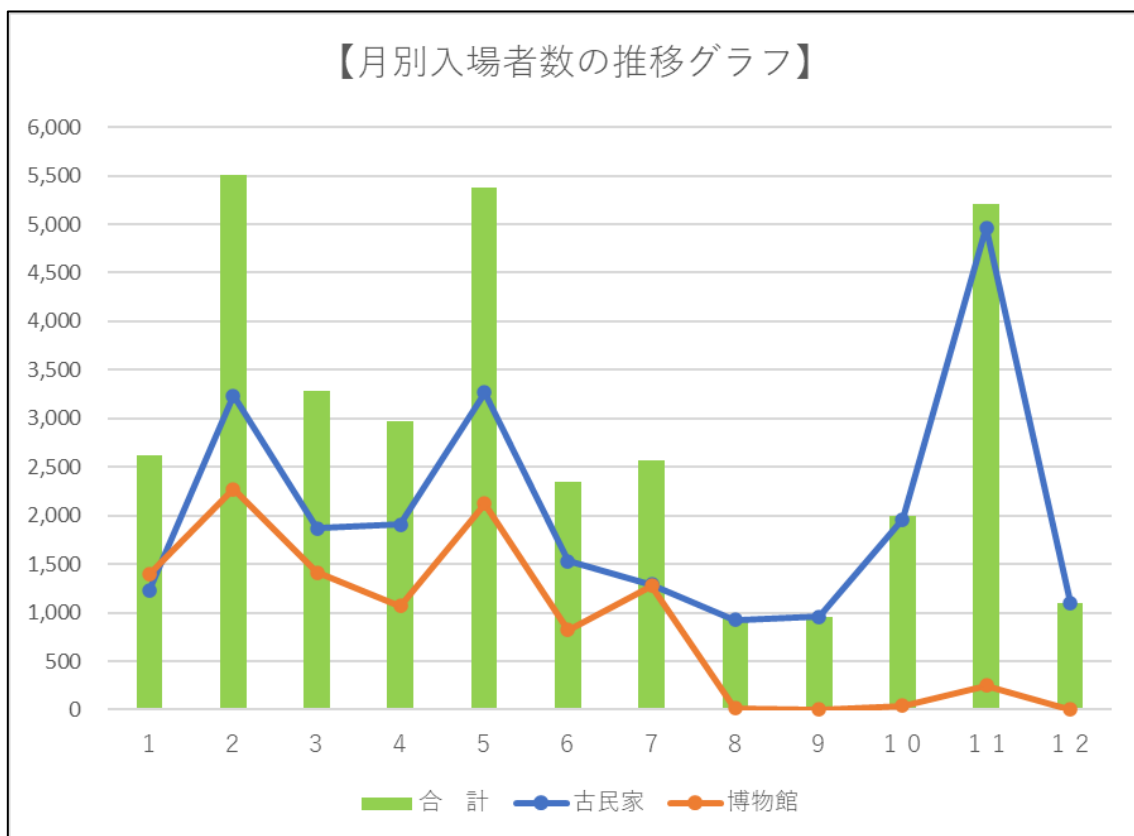
(2) 令和6年 博物館の入館者・古民家園の入園者数

○月別入館者数

博物館開館日数 166 日

古民家園開園日数 307 日

月	博物館入館者			古民家園 入園者	合 計
	有料入館者	無料入館者	小 計		
1	239	1,152	1,391	1,226	2,617
2	562	1,712	2,274	3,231	5,505
3	381	1,035	1,416	1,866	3,282
4	387	682	1,069	1,906	2,975
5	691	1,428	2,119	3,264	5,383
6	312	510	822	1,530	2,352
7	885	393	1,278	1,292	2,570
8	0	14	14	923	937
9	0	0	0	957	957
10	0	38	38	1,962	2,000
11	0	249	249	4,964	5,213
12	0	0	0	1,092	1,092
合計	3,457	7,213	10,670	24,213	34,883



○有料入館者内訳

月	一般		大学生等		JAF会員				小計		合計
	個人	団体	個人	団体	大人		学生		個人	団体	
					個人	団体	個人	団体			
1	159	0	8	0	68	0	4	0	239	0	239
2	334	0	8	0	215	0	5	0	562	0	562
3	215	6	21	26	112	0	1	0	349	32	381
4	211	0	25	63	87	0	1	0	324	63	387
5	440	0	11	0	238	0	2	0	691	0	691
6	144	1	13	45	102	0	7	0	266	46	312
7	566	3	42	57	206	2	9	0	823	62	885
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2,069	10	128	191	1,028	2	29	0	3,254	203	3,457
					1,030		29				

○無料入館者内訳

月	盲・ろう・養護学校		小学生		中学生		高校生		高齢者		障がい者		外国人		その他		小計		合計
	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	
1	0	0	88	518	20	0	7	0	350	0	74	0	0	0	95	0	834	518	1,152
2	0	4	178	259	10	0	10	0	832	0	101	0	11	0	285	22	1,427	285	1,712
3	0	0	99	163	8	0	15	0	497	57	104	0	44	0	48	0	815	220	1,035
4	0	0	88	0	10	0	15	0	441	0	67	0	0	0	61	0	682	0	682
5	0	0	104	363	11	0	11	0	691	0	145	0	0	0	103	0	1,065	363	1,428
6	0	0	43	0	5	0	2	0	397	0	46	0	0	0	17	0	510	0	510
7	0	0	87	0	8	0	4	0	162	19	67	0	0	0	46	0	374	19	393
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	14	0	14
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	34	38
11	0	0	0	235	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	14	235	249
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	4	687	1,572	72	0	64	0	3,370	76	604	0	55	0	687	22	5,539	1,674	7,213

※民俗資料の移動・整理や老朽化設備改修等のため、令和6年7月16日（火）から博物館本館を休館している。（詳細は p.6・p.7「展示室の公開休止について」に記載）

開館以来の入館者累計 1,355,470 名

(3) 事業報告

①展示事業

令和6年度は、自動車カタログ愛好家による団体「AUTOMOBILE CATALOG COLLECTOR'S CLUB IN JAPAN くるまスキなかまたち」(ACC・JAPAN)との共催展示会を1件、民俗博物館主催のスポット展を2件開催した。サテライト展は実施しなかった。

また、令和6年7月16日(火)から当面の間にわたり、本館展示室の公開を休止とした。

【企画展・特別展】

ACC・JAPAN 共催展示会「1960年代の車と暮らし」

◆展示内容

「1960年代の車と暮らし」をテーマに、1960年代を代表する自動車のカタログと、その自動車が誕生する背景となった当時の世相を年表やパネルで紹介した。また、奈良トヨタ株式会社の協力により、初代カローラのレストア車を展示した。

◆主 催 奈良県立民俗博物館、AUTOMOBILE CATALOG COLLECTOR'S CLUB IN JAPAN くるまスキなかまたち

◆協 力 奈良トヨタ株式会社

◆会 期 令和6年5月3日(金・祝)～5月5日(日・祝)[3日間]

◆会 場 博物館企画展示室、多目的室

◆観覧者数 1,120名



【スポット展】

スポット展「戦時下の暮らし」

◆展示内容

旧鹿沼家住宅において、等身大の人形を用いて出征前夜をイメージした展示を行った。軍服姿で敬礼する長男に対し、母親は最愛の息子との別れを嘆き、父親はかける言葉が出ずに煙草を吹かす。幼い弟だけは無邪気に兄を万歳で送り出そうとしている。人形の周囲には、戦時中の代用品や空襲警報の看板など、当時の戦争関連道具を展示した。

◆主 催 奈良県立民俗博物館

◆会 期 令和6年7月18日（木）～8月31日（土）[45日間]

◆会 場 古民家園 旧鹿沼家住宅

◆観覧者数 1,286名



スポット展「古民家でひなまつり」

◆展示内容

旧赤土家離座敷において、雛祭りに合わせて雛段飾りや、ぼんぼり、和傘などの展示を行った。雛段飾りは8段飾りで、15人揃いの雛人形と嫁入り道具、御輿入れ道具を並べた。

◆主 催 奈良県立民俗博物館

◆会 期 令和7年2月15日（土）～3月5日（水）[16日間]

◆会 場 古民家園 旧赤土家離座敷

◆観覧者数 2,624名



【展示室の公開休止について】

令和6年7月1日（月）に行われた県議会文教くらし委員会において、奈良県立民俗博物館の本館および展示室が7月16日（火）から当面の間にわたって公開休止（休館）となること、再開館は令和9年度中を目指すことが発表された。理由としては、本館収蔵庫に収まりきらずに溢れた収蔵品が他の県有施設（旧高田東高校および旧郡山土木事務所）にまで多量に仮置きされている現況を適切化するための資料整理作業や、本館における老朽化設備の改修工事などに専念するためである。

本館および展示室の公開休止（休館）を控えた民俗博物館では、7月6日（土）、7月7日（日）、7月13日（土）、7月14日（日）、7月15日（月・祝）の計5日間にわたり、学芸員による最後の展示解説が行われ、計1,084名の観覧者が訪れた。



学芸員による展示解説の様子



休館前の展示室の様子

7月16日（火）以降は、休館決定前にすでに予約を済ませていた一部の小学校による団体見学を除いて、本館展示室の公開を停止した。

12月末には、外部の仮置き収蔵庫（旧高田東高校）に保管している収蔵資料を本館展示室に移転する空間を確保するため、博物館職員によって常設展示の撤収作業を行った。

また常設展示に利用されていた展示ケースや展示台、休憩用ベンチなどの備品は他の県施設に譲渡を行ったほか、一部を産業廃棄物として処理した。



譲渡などを行った展示備品類



常設展示撤収後の展示室の様子

令和7年1月30日（木）から2月7日（金）にかけて、旧高田東高校の校舎に保管していた収蔵資料2,948点を、本館展示室に移転する作業を行った。



資料の移転作業の様子（上段および中段左：搬出作業、中段右および下段：搬入作業）

②イベント事業

令和6年度は秋まつり・梅まつりのほか、講演会、ワークショップ、古民家活用イベントを実施した。

【秋まつり・梅まつり】

ならみんぱく秋まつり

- ◆概要 奈良県指定無形民俗文化財である「室生の獅子神楽」の特別公演をはじめ、古民家の修理現場公開やワークショップ、物産の販売、太鼓や雅楽の演奏、キッチンカーや屋台による食べ物の販売などを行った。

県内外から参加した人々は、様々なイベントで楽しみながら、無形民俗文化財の特別公演や伝統建築の修理現場などに触れることで、奈良県について学びを深めた。

- ◆主催 奈良県立民俗博物館、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

- ◆日程 令和6年11月2日（土）・3日（日・祝）・4日（月・休）

- ◆参加者 公園来園者：3,260名

- ◆協力者（順不同）

室生神楽保存会／青丹雅楽会／瀬尾はやみと愉快的仲間たち／奈良県茶生産青年協議会／一般財団法人 奈良の鹿愛護会／一般財団法人 建築研究協会／古荘貴也 氏／伊藤誠一郎 氏／株式会社 椋本工務店／山城萱葺株式会社／矢田の里たけのこクラブ／ROUND CREPE／パティラパトニ／木伊／農せんと／黎の会／社会福祉法人大和郡山育成福祉会 ひかり園／大和郡山市立里山の駅 風とんぼ／珈豆



ならみんぱく梅まつり

- ◆概 要 大和民俗公園内にある蟠梅・紅梅・白梅など約 140 本の梅が見頃を迎える時季に合わせて、古民家の修理現場公開やワークショップ、物産の販売、太鼓や雅楽の演奏、キッチンカーによる食べ物の販売などを行った。令和 6 年度は気温が低かったため、イベント当日に開花していた花は蟠梅のみで、紅梅と白梅は蕾の状態だったが、県内外から多くの参加者が訪れた。

また前回公開時から工事の進んだ修理現場公開のほか、奈良大学准教授・杉山智昭氏と杉山ゼミ生らによる紙漉き体験や、京都先端科学大学名誉教授・佐々木高弘氏と弟子の怪文化追求サークル・ワニザメ党による講演会など、様々な学びを得るコンテンツが注目を集めた。

- ◆主 催 奈良県立民俗博物館、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

- ◆日 程 令和 7 年 2 月 22 日（土）・23 日（日）

- ◆参加者 公園来園者：3,641 名

- ◆協力者（順不同）

奈良大学 杉山智昭ゼミ／怪文化追求サークル・ワニザメ党／佐々木高弘氏／なら楽鼓の会／青丹雅楽会／上田流尺八道奈良県幹部会／農せんと／一般財団法人 建築研究協会／株式会社 椋本工務店／山城萱葺株式会社／矢田の里たけのこクラブ／ROUND CREPE／木伊／エストゥルカ／社会福祉法人大和郡山育成福祉会 ひかり園／多山酒造合名会社／大和郡山市立里山の駅 風とんぼ／珈豆



【講演会】

特別講演会「古都で考える怪異・妖怪―怪民談義 in 奈良―」

◆概 要 一般的に「民俗学的なもの」として想起されがちな事象として妖怪文化が存在する。そこで京都先端科学大学の歴史民俗研究会から発足し、精力的に妖怪文化の研究を行っている「怪文化追求サークル・ワニザメ党」の4名と、彼らの指導教授であり妖怪文化の研究者である京都先端科学大学名誉教授・佐々木 高弘 氏を招聘し、大和民俗公園の古民家を会場として妖怪文化にまつわる講演会および座談会を開催した。

第1講演では、奈良時代の本簡に記された九頭一尾の大蛇、『和漢三才図会』に記載された奈良県のツチノコ、奈良市や天理市で伝承される怪火「ジャンジャン火」といった奈良県ゆかりの妖怪を人文地理学的な考察と共に紹介した。

第2講演では、妖怪の出没した位置情報と行動を分析することで、妖怪の住处や目的地を検出する「妖怪の地理的プロファイリング」の試論として、『日本国現報善悪霊異記』（日本霊異記）や『延喜式』に描かれる鬼を考察した。その結果、妖怪の目的地が平城京や平安京などの宮都であったことが明らかとなった。

第3講演では、平将門の首塚とされる将門塚が、古代から伝承されてきた存在ではなく、近代における「非合理の復権」作用のなかで怪異譚と共に形成されてきたことを論じた。また明日香村の蘇我入鹿の首塚についても同様に、近代化の作用のなかで言説が形成されてきたことを考察した。

第4講演では、東大寺二月堂の若狭井と福井県小浜市の鵜の瀬が地下でつながっているという伝承を事例に、地下世界をめぐる地理的想像力について論じた。普遍的に冥界への入り口とされる地下を通り、若狭井の先が鵜の瀬につながっていると想像された背景には、北極星信仰を用いた都市プランニングがされた平城京からみて、北限である若狭は常世であった可能性を考察した。

座談会では、各講師による振り返りの後、聴講者からの質問を受け付けた。第1講演のツチノコの話に触れて講師イチオシのツチノコを問う質問に対しては、ツチノコによる町おこし事例として下北山村や岐阜県東白川村、広島県府中市上下町、新潟県糸魚川市などが紹介された。第2講演や第4講演で触れられた説明について、天界からくる場合と地下世界からくる場合とで妖怪に差違はあるのかという質問に対しては、妖怪はあらゆる方向からくると考えられていたことが論じられた。第3講演に対しては首塚の保存協会の性質や、近代化における合理性の反動としての「非合理の復権」について質問があり、それぞれの背景が論じられた。また天理市で UFO 目撃談が多い話題から UFO と妖怪の結びつきを問う質問については、『日本怪異妖怪大事典』において UFO の項目が立てられている



ることを事例として挙げつつ、これまでは「よくわからないもの、説明がつかないもの」に対して怪異妖怪の概念が使われてきたのではないか、その怪異妖怪よりも更に現代的な解釈として今の UFO があるのではないかと論じられた。

- ◆講 師 佐々木 高弘 氏（京都先端科学大学 名誉教授）
中山 勘太郎 氏（ワニザメ党 総裁）
九五式石井 氏（ワニザメ党 党員）
谷津 亮太郎 氏（常葉大学 非常勤講師）
岡 颯 馬 氏（立命館大学大学院 博士前期課程）

- ◆内 容 第1講演
「導入 怪民談義 in 奈良～奈良の妖怪たちを訪ねる～」
(中山 勘太郎 氏 ・ 九五式石井 氏)

- 第2講演
「宮都と妖怪－妖怪の地理的プロファイリング－」
(佐々木 高弘 氏)

- 第3講演
「想起された首塚－近代怪異譚を考える」
(谷津 亮太郎 氏)

- 第4講演
「東大寺・若狭井と鵜の瀬－地下世界をめぐる地理的想像力－」
(岡 颯馬 氏)

コーディネーター：西尾 栄之助（奈良県立民俗博物館 学芸員）

- ◆日 程 令和7年2月23日（日）
- ◆場 所 古民家園（吉野集落）
旧前坊家住宅 主屋1階（みせ、みせおく、なかのま、なんど、ざしき）
- ◆対 象 一般
- ◆参加者 54名
- ◆参加費 無料



【イベント・ワークショップ】

こどもの日ワークショップ

「竹と木でおもちゃを作ろう！」

- ◆概要 竹や木などの身近な材料を使って、飛行機や置物など 3 種類のおもちゃを作る体験講座を矢田の里たけのこクラブが行った。
- ◆講師 矢田の里たけのこクラブ
- ◆日程 令和 6 年 5 月 4 日（土・祝）・5 日（日・祝）
- ◆場所 古民家園 旧臼井家住宅
- ◆対象 小学生以下
- ◆参加者 12 名
- ◆参加費 ジェット飛行機 : 500 円 小さな木の仲間たち : 200 円
さしば : 500 円



風鈴連想ゲーム

- ◆概要 古民家に吊り下げた風鈴についているヒントから答えを考えるイベントを実施した。連想ゲームの問題は大人用と子供用の 2 種類。令和 6 年度における大人用のヒントは「郡山城」「赤膚焼」などで、答えは「豊臣秀長」。子供用のヒントは「奈良公園」「鹿」などで、答えは「鹿せんべい」。
- ◆日程 令和 6 年 7 月 2 日（火）～9 月 16 日（月）
- ◆場所 古民家園
- ◆対象 一般
- ◆参加者 104 名
- ◆参加費 無料



夏休みワークショップ

「竹と木でおもちゃを作ろう！」

- ◆概要 竹や木などの身近な材料を使って、飛行機やうちわなど 3 種類のおもちゃを作る体験講座を矢田の里たけのこクラブが行った。
- ◆講師 矢田の里たけのこクラブ
- ◆日程 令和 6 年 8 月 3 日（土）・8 月 4 日（日）
- ◆場所 古民家園 旧臼井家住宅
- ◆対象 小学生以下
- ◆参加者 6 名
- ◆参加費 リング飛行機 : 500 円 小さな木の仲間たち : 200 円
うちわ : 500 円



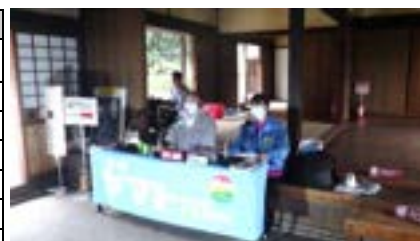
【古民家活用イベント】

令和6年度の古民家活用イベントとして一般に公募し、採用された企画は以下のとおりである。

日付	団体名	イベントタイトル	開催場所	人数
4月～12月 第2・4木曜日	FMヤマト	民博・健活・昼活トーク	旧赤土家離座敷	
4月 3日(水)	青丹雅楽会	青丹雅楽会の雅楽演奏公開練習	旧吉川家住宅	10名
4月13日(土)	大和琵琶楽	琵琶演奏公開練習	旧吉川家住宅	30名
4月14日(日)	伊東 修子 氏	古民家でクラシックギター	旧松井家住宅	50名
4月19日(金)	農せんと	大和かまど茶屋	旧萩原家住宅	20名
4月20日(土)	青丹雅楽会	青丹雅楽会の雅楽演奏公開練習	旧吉川家住宅	15名
4月21日(日)	お話の会「テルトリア」	お話を聞いてほっこりしよう	旧鹿沼家住宅	30名
4月21日(日)	山添 和久 氏	昔のおもちゃを作って遊ぼう	旧吉川家住宅	12名
4月21日(日)	15 倶楽部	竈で沸かしたお湯でほうじ茶をどうぞ！古民家を 味わいながら鍋敷き作り	旧萩原家住宅	51名
4月27日(土)	琴苗会南クラブ	大正琴の演奏	旧白井家住宅	20名
5月 1日(水)	青丹雅楽会	青丹雅楽会の雅楽演奏公開練習	旧吉川家住宅	5名
5月 5日(日)	民芸寺子屋	ペンガラ染め体験	旧白井家住宅	20名
5月 6日(月)	公益社団法人アジア協会アジ ア友の会	つなGOアジア！@みんなく	旧白井家住宅	100名
5月11日(土)	大和琵琶楽	琵琶演奏公開練習	旧吉川家住宅	2名
5月12日(日)	回想法meat memory	“懐かしい”を楽しもう！みんなく回想法☆オカ リナ演奏☆茶粥付	旧白井家住宅	100名
5月18日(土)	青丹雅楽会	青丹雅楽会の雅楽演奏公開練習	旧吉川家住宅	5名
5月19日(日)	城陽雅楽友の会	筑前琵琶の響き	旧吉川家住宅	25名
5月19日(日)	山添華紫都	箏コンサート“千紅万紫”	旧白井家住宅	15名
5月26日(日)	奈良の民話を語りつぐ会	奈良民話祭り 春 ～古民家で聞く奈良の民話～	旧白井家住宅	31名
5月26日(日)	サイエンス・フロンティア・ オヤジング	風船ロケットを作って飛ばそう！！竈で炊いた茶 粥を試食しよう。	旧白井家住宅	124名
6月 2日(日)	上田流尺八道 奈良県幹部会	古典尺八演奏	旧白井家住宅	12名
6月 2日(日)	山添 和久 氏	昔のおもちゃを作って遊ぼう	旧吉川家住宅	5名
6月 5日(水)	青丹雅楽会	青丹雅楽会の雅楽演奏公開練習	旧吉川家住宅	7名
6月 8日(土)	大和琵琶楽	琵琶演奏公開練習	旧吉川家住宅	18名
6月 9日(日)	おはなしのいずみ	ようこそ！お話の世界へ	旧萩原家住宅	16名
6月15日(土)	青丹雅楽会	青丹雅楽会の雅楽演奏公開練習	旧白井家住宅	8名
6月16日(日)	お話の会「テルトリア」	お話を聞いてほっこりしよう	旧白井家住宅	30名
7月 3日(水)	青丹雅楽会	青丹雅楽会の雅楽演奏公開練習	旧白井家住宅	3名
7月 7日(日)	民芸寺子屋	ペンガラ染め体験	旧白井家住宅	10名
7月20日(土)	青丹雅楽会	青丹雅楽会の雅楽演奏公開練習	旧白井家住宅	3名
7月21日(日)	農せんと	みんなく夏草あそび	旧萩原家住宅	20名
8月10日(土)	山添 和久 氏	昔のおもちゃを作って遊ぼう	旧吉川家住宅	2名
8月17日(土)	青丹雅楽会	青丹雅楽会の雅楽演奏公開練習	旧白井家住宅	0名
9月 4日(水)	青丹雅楽会	青丹雅楽会の雅楽演奏公開練習	旧白井家住宅	3名
9月14日(土)	大和琵琶楽	琵琶演奏公開練習	旧吉川家住宅	8名
9月21日(土)	青丹雅楽会	青丹雅楽会の雅楽演奏公開練習	旧白井家住宅	5名
9月22日(日)	瀬尾はやみと愉快的仲間たち	第十回里山コンサート	国中芝生広場	10名
10月 2日(水)	青丹雅楽会	青丹雅楽会の雅楽演奏公開練習	旧白井家住宅	3名
10月 6日(日)	山添 和久 氏	昔のおもちゃを作って遊ぼう	旧吉川家住宅	4名
10月12日(土)	大和琵琶楽	琵琶演奏公開練習	旧吉川家住宅	15名
10月19日(土)	青丹雅楽会	青丹雅楽会の雅楽演奏公開練習	旧白井家住宅	5名
10月20日(日)	奈良の民話を語りつぐ会	奈良民話祭り 秋 ～古民家で聞く奈良の民話～	旧白井家住宅	27名
10月27日(日)	お話の会「テルトリア」	お話を聞いてほっこりしよう	旧白井家住宅	25名
11月 9日(土)	大和琵琶楽	琵琶演奏公開練習	旧吉川家住宅	18名
11月10日(日)	おはなしのいずみ	ようこそ！お話の世界へ	旧白井家住宅	10名
11月14日(木)	農せんと	かまどや七輪の昔台所体験	旧白井家住宅	10名
11月17日(日)	郡山邦楽友の会	和のしらべ	旧白井家住宅	50名
11月17日(日)	山添 和久 氏	サヌカイトを使っておもちゃを作ろう！	旧吉川家住宅	2名
1月24日(金)	農せんと	かまどや七輪の昔台所体験	旧白井家住宅	40名
3月20日(木)	山添 和久 氏	サヌカイトを使っておもちゃを作ろう！	旧吉川家住宅	
3月30日(日) 予定	衆の会	一日限りの「抹茶喫茶」	旧白井家住宅	

※FM ヤマト「民博・健活・昼活トーク」の人数は観覧者の入れ替わり等のため把握不可。

合計 22 団体 1,034 名



③指定文化財（民家）の保存修理事業

令和6年度は、大和民俗公園内の宇陀・東山エリアに移築復原されている旧岩本家住宅（国指定重要文化財）の茅葺屋根の葺き替え工事を施工中であり、2度にわたり修理現場を一般公開し、見学会を開催した。（工事の完了は令和7年度予定）また、旧吉川家住宅（県指定有形文化財）および旧松井家住宅（県指定有形文化財）の耐震診断業務を発注・実施した。

【古民家修理現場公開（見学会）】

古民家修理現場公開（ならみんぱく秋まつり）

- ◆概要 葺き替え工事のために仮設足場を組んだ旧岩本家住宅で、葺き替え前の修理現場を公開。修理現場の様子を撮影した写真パネルを交えながら、専門技術者が修理の手法等を解説した。さらに旧岩本家住宅内の土間では、屋根模型を用いた葺き替え解説と体験も行った。

- ◆講師 伊東 洋平 氏（山城萱葺株式会社）

望月 里佳子 氏（山城萱葺株式会社）

- ◆主催 奈良県立民俗博物館、（独）日本芸術文化振興会、文化庁

- ◆協力 （一財）建築研究協会、（株）椋本工務店、山城萱葺（株）

- ◆日程 令和6年11月2日（土）・3日（日・祝）・4日（月）

- ◆場所 旧岩本家住宅

- ◆参加者 436名

- ◆参加費 無料



古民家修理現場公開（ならみんぱく梅まつり）

- ◆概要 葺き替え工事をしている旧岩本家住宅で修理現場を公開。屋根の茅を取り除いて小屋組が露出した様子を間近で観察しながら、解説のために葺いた模型を用いて茅葺屋根の構造や葺き替え工事の解説を行った。

- ◆講師 山田 雅史 氏（山城萱葺株式会社代表取締役）

伊東 洋平 氏（山城萱葺株式会社）

古庄 貴也 氏（一般財団法人 建築研究協会）

伊藤 誠一郎 氏（一般財団法人 建築研究協会）

- ◆主催 奈良県立民俗博物館、（独）日本芸術文化振興会、文化庁

- ◆協力 （一財）建築研究協会、（株）椋本工務店、山城萱葺（株）

- ◆日程 令和7年2月22日（土）・23日（日）

- ◆場所 旧岩本家住宅

- ◆参加者 406名

- ◆参加費 無料



④博学連携事業

令和6年度は、令和6年7月16日（火）から当面の間にわたり休館となったため、博物館実習、職場体験、出前授業は実施しなかった。学校団体の見学については休館決定前に予約を終えていた団体に限り休館後も実施した。

【学校団体見学利用実績】

日付	学校名	人数
4月 5日（金）	畿央大学 健康科学部 人間環境デザイン学科	70名
4月23日（火）	洛南高等学校	437名
5月 2日（木）	大和高田市立陸西小学校	58名
5月10日（金）	天理市立山の辺小学校	54名
5月10日（金）	香芝市立鎌田小学校	75名
5月10日（金）	大和郡山市立矢田南幼稚園	23名
5月14日（火）	大和高田市立磐園小学校	65名
5月14日（火）	斑鳩町立斑鳩小学校	112名
5月14日（火）	香芝市立下田小学校	142名
5月17日（金）	大和郡山市立矢田小学校	142名
5月21日（火）	生駒市立生駒東小学校	70名
5月30日（木）	奈良市立鶴舞小学校	65名
6月 4日（火）	大和郡山市立矢田南小学校	42名
6月11日（火）	奈良県医師会看護専門学校	49名
7月 7日（日）	奈良大学 通信教育部	85名
10月 3日（木）	大淀町立大淀希望ヶ丘小学校	26名
10月 4日（金）	宇陀市立大宇陀小学校	38名
10月25日（金）	生駒市立生駒台小学校	140名
11月 8日（金）	奈良市立伏見小学校	164名
11月13日（水）	奈良市立ならやま小中学校	85名
12月 6日（金）	大和高田市立浮孔小学校	48名
12月 6日（金）	奈良県立精華学院	21名
2月20日（木）	大和郡山市立郡山西小学校	93名

合計 23 校 2,104 名

【大学との連携協定】

帝塚山大学大学院

人文科学研究科日本伝統文化専攻博士後期課程在籍者のインターンシップ受け入れ。

（平成23年度協定締結）

京都芸術大学

有形民俗資料の保存・継承、活用に関する教育研究活動についての相互協力。館蔵資料を修復の実習資料として貸し出し、教育、研究に活用するとともに、博物館資料の保存、継承に寄与する。（平成29年度協定締結）

○令和 6 年度の修復対象（貸出）資料

龍吐水、獅子頭、山の神、蓄音機、針箱、アイロン、私設郵便差出箱、卓上電話機、センバコキ、芋こじ、ヤゲン、薬箱、薬箆、シンコの型、ひしもちの型、ホウラク、柱時計、ハエトリ器、桶（計 86 点）



ハエトリ器の清掃作業の様子



墨書の保存処置としてニカワを塗る様子

⑤資料整理事業

令和 6 年度は、旧高田東高校の校舎や、博物館本館の収蔵庫および二階に保管された資料の整理作業を行った。また旧高田東高校の資料調査では京都芸術大学の協力を受け、博物館本館の収蔵庫の資料整理では奈良大学の協力を受けた。

【博物館による資料整理】

資料整理作業について

奈良県立民俗博物館では、収蔵資料を整理するための「整理番号」が各資料に付与され、「原簿」と呼ばれる台帳に記録がされている。しかし、データ管理上の要因（資料の受け入れ時期によって複数の書式の整理番号が混在すること、資料を記録する台帳がノートブック、Excel データ、FileMaker データなど複数の形式で乱立していて、かつ整理番号の重複や記載漏れなどがあり、内容が統合されていないことなど）や収蔵状態の要因（整理番号の記載された札が資料から落下していて整理番号がわからない資料があること、台帳上の情報と資料の保管場所が紐づいておらず、資料の所在は学芸員の経験則で探索するしか方法がないこと、またそもそも資料受け入れ時に整理番号を付与していない未整理の資料が多量にあることなど）によって、収蔵資料の全体が把握できていないという問題が存在している。この問題に対処するため、民俗博物館では令和 5 年 4 月から資料整理業務を学芸員職掌の中心に据えた。また実際の資料整理業務にあたっては学芸員だけでなく、会計年度任用職員など事務職掌の博物館職員も動員した。

資料整理を行うにあたっては、従前の整理番号の追跡が難しい資料や、整理番号の付与されていない資料が多量に存在し、また整理番号の付与基準も 1 点ごとに付与した資料と、複数点をまとめた 1 件ごとに付与した資料が混在していることから、従前の整理番号とは別に新たな整理番号を 1 点ごとに付与していくこととした。

資料整理の手順としては、新しい整理番号を付与し、資料の写真を撮影し、法量を計測し、従前の整理番号や寄贈者情報が確認できる場合はそれらの情報とともに、所在場所と紐づけた記録を行った。

旧高田東高校の資料整理

まずは立ち退きを求められている外部の仮置き収蔵庫から作業を行うこととして、旧高田東高校の校舎に保管していた収蔵資料の確認作業を令和 5 年 6 月 7 日（水）から学芸員 3 名や会計年度任用職員 2 名で行い、令和 7 年 2 月 7 日（金）に全点（2,948 点）の確認が完了した。

立ち退きを求められている外部の仮置き収蔵庫は、旧高田東高校のほかにも旧郡山土木事務所が存在するが、旧高田東高校に仮置きしている資料を令和 6 年度内に民俗博物館本館へ移転しなければならない事情から、次いで民俗博物館本館の資料整理作業へと移った。



旧高田東高校での作業の様子



旧高田東高校の様子（昇降口）



旧高田東高校の様子（社会科教室）



旧高田東高校の様子（地学教室）



旧高田東高校の様子（保健室）



旧高田東高校の様子（大会議室）

本館の資料整理

本館収蔵庫の資料整理を行うにあたり、資料を収蔵する棚ごとに番号を付与することで、資料の所在場所を記録する際に参照するための「棚番号」とした。

また、民俗博物館本館の地階にある収蔵庫の整理を奈良大学と連携して進める一方で、同時に本館2階に保管されている収蔵資料の確認作業も着手した。



各収蔵庫の棚番号



本館2階での作業の様子



本館2階の様子（学芸課室）



本館2階の様子（写場）



本館2階の様子（資料登録整理室）

令和 7 年 1 月 30 日（木）から 2 月 7 日（金）にかけて、旧高田東高校の校舎に保管していた収蔵資料 2,948 点を、本館展示室に移転する作業を行った。



資料移転後の展示室の様子



旧「農村の四季」コーナー



旧「地域のものづくり」コーナー



旧「昔の暮らし」コーナー

【大学による資料整理協力】

京都芸術大学

令和 6 年 7 月から民俗博物館が本館を休館して資料整理に注力することが周知されると、連携協定（p.15 参照）を結んでいる京都芸術大学においても歴史遺産学科の溝邊 悠介 専任講師から協力のお申し出があり、8 月から 10 月にかけて溝邊専任講師と同学科の学生に資料調査のご協力をいただいた。

調査協力では、外部の仮置き収蔵庫のひとつである旧高田東高校に保管していた収蔵資料のうち、唐箕と踏み車の調査を行った。資料写真の撮影と法量計測などは民俗博物館の学芸員がすでに記録をとっていたため、京都芸術大学の調査では資料一点ごとのより詳細な情報（墨書、焼き印などの文字情報や、部品の接合などの構造的情報）を記録した。記録を行う際は溝邊専任講師が作成した調査カードを用いた。

また調査にあたっては赤外線カメラを用いた撮影を行うことで、肉眼では確認の難しい情報（例えば唐箕の墨書などは、部品の軸から垂れた油で上から黒くつぶれてしまっていることがある）も記録を行うことができた。

奈良大学

令和 5 年度から引き続いて団体見学に民俗博物館を利用していた奈良大学においても、文学部 文化財学科の杉山 智昭 准教授から協力のお申し出があり、令和 6 年 9 月から令和 7 年 3 月にかけて、杉山准教授と、同大学で文化財について学ぶ学生有志による資料整理のご協力をいただいた。

奈良大学による資料整理協力では、民俗博物館の本館地階にある収蔵庫における整理作業を行った。毎週金曜日の午前 10 時から午後 5 時までを作業時間とし、学生有志は自分の都合のよい日時に参加を行った。参加した学生有志は 15 名に上った。

令和 6 年 9 月 13 日（金）に A 収蔵庫の一番手前の棚（棚番号 A①）から作業を開始し、令和 7 年 3 月 14 日（金）現在では計 993 点の資料を整理し、4 列奥の棚（棚番号 E②）まで作業が進んでいる。

作業内容としては、棚から資料を下ろし、資料の清掃、写真の撮影、法量の計測、情報（今回新しく付与する整理番号、古い整理番号、寄贈者などの情報、劣化など資料の状態）の記録、新しい札（整理番号や寄贈者などの情報を記載した札。民俗博物館ではこの札をエフと呼ぶ）の添付を行い、清掃した棚へと資料を整頓して戻す。この一連の作業を杉山准教授の指導のもと、奈良大学学生有志が行った。

資料整理前の収蔵棚は整頓された置き方ではなく、棚に収まりきらない資料が通路にあふれ出している状況だったが、資料整理の作業を行った箇所では、それまで通路に出ていた資料の多数を整頓によって棚のなかへと収めることができた。



隣接する B 収蔵庫の通路で作業を行う様子
(A 収蔵庫では作業空間を確保できないため)



資料の状態を確認する様子



資料の清掃を行う様子



資料の撮影を行う様子



資料情報を記録する様子



資料に新しい札をつける様子



資料整理を行った棚と通路の様子



未整理の棚と通路の様子

新番号	保管場所	旧番号	資料名	住所	氏名	縦(cm)	横(cm)	奥(cm)	資料について
T286	E0-3	27-8711	アリス	京都府		14.0	12.6	13.4	蓋付
T287		17217	三浦	京都府		20.0	19.3	24.0	
T288		27-87110	油壺	京都府		20.0	20.0	26.7	
T289		21-120	油壺	京都府		17.0	17.0	21.5	
T290		15-4	油壺	京都府		10.5	12.5	21.3	蓋付
T291	E0-3	00-12-92	油壺	京都府		16.5	16.5	19.0	京都府
T292	E0-3	27-87110	油壺	京都府		20.5	20.3	23.0	京都府
T293	E0-3	130	油壺	京都府		5.0	20.5	11.7	
T294	E0-3	31	油壺	京都府		22.0	21.5	29.7	京都府
T295	E0-3	31	油壺	京都府		22.0	21.5	29.7	京都府
T296	E0-3	1	油壺	京都府		22.0	21.5	29.7	京都府

記録用紙

(注：掲載にあたり、記録用紙から個人情報を塗り潰している)

⑥調査・研究事業

令和 6 年度は、橿原市や奈良市に所在する古文書について 2 件の資料調査に参加した。また民俗調査としては、生駒郡の伝統行事に関する聞き取り調査を 1 件行った。

【民俗調査】

○「橿原の勧請綱掛け」に関する聞き取り調査

日時：令和 6 年 11 月 27 日（水）13 時 00 分～16 時 00 分

場所：奈良県生駒郡平群町（個人宅）

概要：平群町橿原の伝統行事「橿原の勧請綱掛け」に関する聞き取り調査を行った。

【資料調査】

○橿原市御坊町自治会古文書の調査

日時：令和 6 年 5 月 23 日（木）10 時 00 分～11 時 00 分

場所：奈良県橿原市御坊町（御坊町集会所）

概要：自治会が保管する古文書について、整理のための協力を行った。

○奈良市史料保存館寄託史料の古文書調査

日時：令和 6 年 8 月 28 日（水）、29 日（木）、30 日（金） 9 時 00 分～17 時 00 分

場所：奈良県奈良市鳴川町（奈良市音声館）

概要：奈良市史料保存館が寄託を受ける古文書について、整理と調査の協力を行った。

⑦その他事業

令和 6 年度は、主に公式 Instagram や公式 X を用いた情報発信を定期的実施した。

【情報発信】

○令和 2 年以降、公式 SNS を開設し、企画展示やイベントなどの最新情報を発信している。

	公式 Instagram 奈良県立民俗博物館【公式】#ならみんぱく https://www.instagram.com/naraminpaku_official/	令和 2 年開設	
	公式 X（旧 Twitter） 奈良県立民俗博物館【公式】 https://twitter.com/naraminpaku	令和 4 年開設	
	公式 Youtube チャンネル ならみんぱく【公式】 https://www.youtube.com/@naraminpaku	令和 5 年開設	

○令和 6 年度の公式 YouTube チャンネルでは、令和 5 年度ならみんぱく梅まつり（令和 6 年 2 月 24 日～2 月 25 日）において博物館の展示や古民家修理現場などを英語や中国語で紹介する動画を公開したほか、令和 6 年 1 月 14 日に生駒郡平群町橿原で行われた民俗行事「橿原の勧請綱掛け」の記録映像を公開した。

[表紙写真]

民俗博物館の展示室（旧高田東高校から資料を搬入した後の様子）

2025 年 2 月 7 日（金）撮影

[裏表紙写真]

民俗博物館の未整理室（未整理の資料が多量に保管されている部屋）

2025 年 2 月 28 日（金）撮影

年報 2024 ー奈良県立民俗博物館だよりー （通巻 116 号）

令和 7 年 3 月 31 日発行

●発行・編集 奈良県立民俗博物館

〒639-1058 奈良県大和郡山市矢田町 545 番地

TEL 0743-53-3171 FAX 0743-53-3173

●印刷・製本 花松印刷株式会社

〒630-8126 奈良県奈良市三条栄町 6-2

TEL 0742-33-8774 FAX 0742-34-5036

